

## 組踊初心者の人に オススメ演目



### 女物狂

子どもをさらわれ、悲しみのあまり正気を失ってしまう母親の物語。母親が笹を持ち狂乱する姿からは深い悲しみが伝わってきます。人盗人が人盗人とはばれないようにいろんな表情でごまかす場面は会場の笑いを誘います。



### 執心鐘入

美少年の中城若松を泊めた女が恋焦がれるあまり鬼女になってしまう物語。鬼女の登場シーンや鬼女と住職たちの緊迫した立ち回りなど迫力満点です。

ストーリーが  
わかりやすく、  
見どころ満載！



## point 3

## 初めてなら 国立劇場おきなわ！

組踊は、沖縄本島各地や離島に伝えられ、村踊りの際に、その土地に伝わる組踊が地域の人々によって演じられていますが、初めての方には「国立劇場おきなわ」での観劇がおすすめです。古典の組踊だけでなく、新作組踊や子どもたちも一緒に楽しめる入門編も上演されています。舞台両袖に標準語訳の字幕が表示されるので、「方言がわからない」という人でも安心して鑑賞できます。

### 国立劇場おきなわとは…

国の重要無形文化財「組踊」をはじめとする沖縄伝統芸能の保存振興を図り、伝統文化を通じたアジア・太平洋地域に交流の拠点となることを目的として平成 16 年1月に開場した。沖縄伝統芸能を鑑賞する機会を増やすために、組踊、琉球舞踊、琉球音楽等のさまざまな公演を行っている。



①昔の沖縄の民家をイメージしたデザインが特徴の国立劇場おきなわ②舞台両袖に設置された字幕表示③最大632席ある大劇場

## INTERVIEW

国立劇場おきなわ芸術監督  
琉球舞踊家、組踊立方  
嘉数 道彦さん

### 琉球の誇りを込めた 組踊をこれからも

組踊は中国の冊封使をもてなすために作られました。琉球独自の言葉や音楽がそのまま使われており、「琉球にはこんなにも素晴らしいものがある」という誇りが込められた総合芸能だと思っています。

先人たちが残したその組踊を幅広い世代に伝えるにはまだ課題があります。古典の組踊は当時に思いをはせて観る分には良いですが、現代のお客様と感動を共にするためには儒教道徳のテーマだけでは限界があると感じています。そこで、舞台の使い方や進め方は伝統的な手法を尊重しながら、新しい感覚を取り入れた新作組踊や初めての方でもわかりやすい入門編の創作にも取り組んでいます。組踊に興味を持つきっかけとなり、多くの人に組踊を楽しんでもらえたら良いと思います。



## point 1

## 音楽、踊り、唱えが調和した沖縄が誇る総合芸能

組踊の舞台には背景転換や大がかりな舞台装置はありません。想像力を膨らませてそれぞれで楽しむことができます。立方(演者)と地謡(楽器を演奏する人)の極められた技と芸は見どころ、聴きどころが盛りだくさんです。



### 音楽

「組踊を聴きに行く」と言われるように組踊では音楽が重要な役割を果たします。三線・箏笛・胡弓・太鼓が効果的に合わさった琉球古典音楽で登場人物の心情や場面の状況を説明しています。また、登場人物が舞台に出入りする時の音楽もそれぞれ身分によって異なります。じっくり耳を傾けると、美しい調べに癒されます。



### とな せりふ 唱え(台詞)

組踊の台詞は唱えとよばれ、琉球古語を使い琉歌と同じ八・八・八・六調のリズムで作られています。登場人物の性別、身分、役柄によって唱え方が異なります。女性はゆったりとやわらかく、男性は力強く表現します。独特のリズムを堪能してみたいはいかがでしょうか。



教えてくれたのは…  
国立劇場おきなわ芸術監督  
琉球舞踊家、組踊立方  
嘉数 道彦さん